



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6430 URL <https://www.daikoku.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大上 誠一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,311	△41.9	△331	—	△277	—	△211	—
2020年3月期第1四半期	9,140	33.0	787	9.6	829	2.1	546	△1.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △204百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 540百万円(1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△14.30	—
2020年3月期第1四半期	36.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	40,149	29,757	74.1
2020年3月期	42,702	30,406	71.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 29,757百万円 2020年3月期 30,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	△41.0	△1,300	—	△1,250	—	△1,250	—	△84.56
通期	28,000	△15.0	400	△72.1	500	△70.1	300	△71.7	20.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	14,783,900株	2020年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	868株	2020年3月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	14,783,032株	2020年3月期1Q	14,783,060株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、世界的な感染拡大をみせる新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞するなか、政府の緊急事態宣言発出による休業要請や外出自粛要請により、外食やレジャー・旅行関連への個人消費は抑えられ、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言の解除に伴い経済活動は再開したものの、回復に向けた動きは鈍く、将来の見通しについて不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、全国のパチンコホールでは休業が実施されました。5月中旬より順次営業が再開し、6月でのパチンコホール稼動状況は、当社DK-S I Sデータ比較で前年同期比73%まで回復しております。遊技機市場における新規遊技機への入替状況ですが、旧規則遊技機の撤去期限が延長されたことにより低調に推移しております。設備市場では、2020年4月「改正健康増進法」の施行によってパチンコホール施設内は全面禁煙となり、喫煙専用室が整備されました。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、パチンコホールでの新型コロナウイルス感染症対策として、パチンコ・パチスロ遊技機の上部に備え付けてある情報公開端末画面に、遊技機や椅子等の清掃や消毒状況がひと目でわかる新機能を追加いたしました。これはファンが安心して遊技できる環境づくりに加え、ホールスタッフの業務効率向上を目的としており、当社システムへの入替を推進いたしました。遊技機市場では「遊タイム」等の新しいゲーム性を有する遊技機が市場投入されており、当社はそのゲーム性を遊技客（ファン）にわかりやすく伝えるコンテンツを追加搭載いたしました。また、外出自粛要請により営業・販促活動に制限があるなか、WEBによるDK-S I Sセミナーを5回開催し、パチンコホール経営企業に最新の情報や遊技機の効率的な活用法などを発信いたしました。

制御システム事業におきましては、パチスロ遊技機の出発点となる受託開発や販売製品の事業領域を拡大する活動を推進するとともに、パチンコ遊技機向け表示ユニットの低コスト化に向けた技術及び部品の調査研究に努めました。開発体制の見直しによる業務効率の向上をはかるとともに、新しい遊技性（「遊タイム」等）を有したパチンコ遊技機の企画提案活動に努めました。顧客である遊技機メーカーが新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、休業や在宅勤務を行うなか、当社においても同様の対応をとりつつ、メールやWEB会議システム等を活用し、顧客との情報共有と在宅勤務での企画開発業務を遂行することで、開発や販売スケジュールへの影響を最小限にするよう努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高53億11百万円（前年同期比41.9%減）、営業損失3億31百万円（前年同期は営業利益7億87百万円）、経常損失2億77百万円（前年同期は経常利益8億29百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億11百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億46百万円）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、前年度から続く厳しい市場環境に加え、パチンコホールへの休業要請が追い打ちとなり、新規店舗のオープン延期や改装計画の中止などが発生したことで設備投資は限定的となり、主要製品の販売は前年同期を大きく下回りました。休業を行うパチンコホールに対して、月額制有償サービスの提供を停止する期間が発生し、MIRIGATEサービスの売上が減少いたしました。

この結果、当事業の売上高は41億15百万円（前年同期比45.6%減）、セグメント利益は1億57百万円（同87.3%減）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機向け部品販売は好調に推移いたしました。パチンコホールの休業による影響で市場全体の遊技機販売台数は大きく減少し、表示ユニット及び制御ユニットの販売は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は12億円（前年同期比23.9%減）、セグメント損失は83百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出による休業要請などの影響により、営業活動が縮小されたこともあり、売掛金などの営業債権が大幅に減少し、前連結会計年度末に比べ25億52百万円減少の401億49百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な点を踏まえ、仕入計画の見直しや経費削減に努力したことにより、買掛金や未払金などが減少し、前連結会計年度末に比べ19億4百万円減少の103億91百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、期末配当金の支払いと、上述の通り、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上となったことから、前連結会計年度末に比べ6億48百万円減少の297億57百万円となりました。自己資本比率は74.1%（前連結会計年度末比2.9ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月21日付の2020年3月期決算短信で開示いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

また、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(2020年6月26日提出)により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,478,001	15,022,968
受取手形及び売掛金	4,026,639	2,565,943
電子記録債権	1,568,880	1,439,415
商品及び製品	3,713,475	3,704,322
仕掛品	30,500	28,088
原材料及び貯蔵品	542,786	465,413
その他	889,126	758,380
貸倒引当金	△1,952	△2,228
流動資産合計	26,247,459	23,982,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,824,816	3,775,275
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	1,080,602	1,015,762
有形固定資産合計	9,067,536	8,953,154
無形固定資産		
ソフトウェア	3,525,678	3,274,438
その他	34,613	34,471
無形固定資産合計	3,560,292	3,308,910
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,133,989	1,208,614
投資不動産（純額）	901,876	898,112
その他	1,939,260	1,946,829
貸倒引当金	△147,823	△148,015
投資その他の資産合計	3,827,303	3,905,540
固定資産合計	16,455,133	16,167,605
資産合計	42,702,592	40,149,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,200,429	1,250,042
電子記録債務	2,275,277	2,427,608
短期借入金	3,000,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	406,250	10,823
役員賞与引当金	62,558	22,550
製品保証引当金	40,410	38,403
株主優待引当金	42,363	42,363
その他	2,821,215	2,138,710
流動負債合計	11,148,504	9,230,501
固定負債		
役員退職慰労引当金	376,043	382,681
退職給付に係る負債	498,805	505,610
その他	272,972	273,195
固定負債合計	1,147,821	1,161,487
負債合計	12,296,326	10,391,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,158,920	28,503,989
自己株式	△1,648	△1,648
株主資本合計	30,511,280	29,856,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,167	13,659
退職給付に係る調整累計額	△119,182	△112,087
その他の包括利益累計額合計	△105,015	△98,428
純資産合計	30,406,265	29,757,921
負債純資産合計	42,702,592	40,149,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	9,140,703	5,311,919
売上原価	5,726,888	3,348,180
売上総利益	3,413,814	1,963,739
販売費及び一般管理費	2,626,565	2,295,616
営業利益又は営業損失(△)	787,249	△331,876
営業外収益		
受取利息	2	9
受取配当金	8,564	8,550
受取保険金	—	16,000
不動産賃貸料	19,865	20,929
その他	28,808	21,438
営業外収益合計	57,240	66,928
営業外費用		
支払利息	2,824	2,927
不動産賃貸費用	12,640	9,969
営業外費用合計	15,464	12,897
経常利益又は経常損失(△)	829,025	△277,845
特別損失		
固定資産除却損	8,055	816
減損損失	1,089	—
その他	1,400	—
特別損失合計	10,544	816
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	818,480	△278,662
法人税、住民税及び事業税	180,565	10,306
法人税等調整額	91,095	△77,528
法人税等合計	271,661	△67,222
四半期純利益又は四半期純損失(△)	546,819	△211,440
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	546,819	△211,440

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	546,819	△211,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,095	△508
退職給付に係る調整額	7,227	7,094
その他の包括利益合計	△5,868	6,586
四半期包括利益	540,951	△204,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540,951	△204,853

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,568,642	1,572,061	9,140,703	-	9,140,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	6,890	6,890	△6,890	-
計	7,568,642	1,578,951	9,147,593	△6,890	9,140,703
セグメント利益	1,234,278	1,570	1,235,848	△448,598	787,249

(注) 1 セグメント利益の調整額△448,598千円には、セグメント間取引消去760千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△449,358千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、1,089千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,115,238	1,196,680	5,311,919	-	5,311,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	4,120	4,120	△4,120	-
計	4,115,238	1,200,800	5,316,039	△4,120	5,311,919
セグメント利益又は損失(△)	157,011	△83,071	73,940	△405,816	△331,876

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△405,816千円には、セグメント間取引消去2,103千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△407,920千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。